

安中市 議会だより



◆発行日 平成27年1月27日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 (株)ヒューマンサポート

安中市民合唱団議場コンサート

12月定例会開会前に本会議映像配信を記念して、安中市民合唱団の皆さんによる議場コンサートが開催されました。

迎春



新年のごあいさつ

議長 伊藤 清
副議長 柳沢 吉保

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、健康で希望に満ちた新春を迎えられましてことをお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様方の力強いご支援によりまして議会活動に専念し、市政の向上・充実に微力を尽くすことができましたことを心から感謝し、厚くお礼を申し上げます。

このような中、昨年六月に設置されました議会改革特別委員会におきまして、次期選挙からの議員定数の削減、本会議映像配信、議案の賛否公表等実施いたしました。同委員会は十二月定例会で終了しましたが、議会改革については今後も継続して実施していかねばならないと考えております。

市民の皆様方には、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十六年安中市議会第四回定例会は、十二月十日から二十一日までの十三日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、条例の制定や一部改正、平成二十六年度補正予算など、あわせて二十件が提出されました。

また、議員提出議案として意見書案二件が提出されました。

定例会のあらまし

◇10日 本会議 会期の決定、議案二十件を上程(内三件を即決)。議案を各委員会に付託。

- ◇12日 総務文教常任委員会
- ◇15日 福祉民生常任委員会
- ◇16日 経済建設常任委員会
- ◇17日 本会議 一般質問
- ◇19日 本会議 一般質問
- ◇22日 本会議 請願・陳情審査

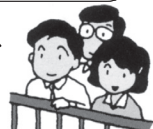
報告、委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案十七件を原案可決。意見書案二件中一件を可決閉会。



今定例会における一般質問は、12月17日と19日に行われ、10名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会は、3月3日～3月20日までの予定です。



防災対策について

問 本市地域防災計画の状況について災害特別警戒区域の指定状況と住民説明について。

答 土砂災害警戒区域が市内に五百四十五箇所指定され、その内特別警戒区域が四百七十一箇所指定されています。住民説明は平成二十二年から三ヶ年かけて四十三地区で行いました。

問 その指定区域で過去にどのような災害があったか。

答 当市では昭和十年九月に台風の影響と長雨で、後閑・秋間・細野・九十九地区で死者百四十四人、重傷者八十八人という大きな土砂災害を最後に人命に関わる被害は出ておりません。

問 避難所の多くが公的施設となっているが何箇所あり、ライフラインが止まった時の機能見直しを考えているか。

答 市内四十四箇所の避難所があり、り県や市が所有している公共施設です。一部非常用電源を備え

ているものを除いては機能を備えている避難所はありません。

問 避難所へ行くために、より危険な場所を通らなければならぬ住民に対し、安全な場所の民家などをお願いできないか。

答 指定緊急避難場所を今年度中に指定する予定で、一時的な避難ができる建物や場所を考慮しており、民間所有の場所も視野に入れて検討する予定です。

その他、災害対応ガイドマップについて質問しました。



急傾斜地崩壊防止工事



櫻井ひろ江
(日本共産党安中市議員)

碓氷病院の運営・ 秋間白沢のゴミ撤去・ 太陽光発電の開発について

碓氷病院の今後のあり方について

問 今年十月に、新たに病院事業

推進担当部長を置き、問題解決に特別な対策を始めたが、病院の今後のあり方を見出し出しているために、担当一人ではよいのか。

答 常勤医師の退職予定や医師不足、厳しい経営状況等に対応して、緊急の医師確保、病院の方向性の土台作りの検討を進めており、市長・副市長と担当の定期的な会議、また、病院長・事務部長との打ち合わせなどを行い、市長も群大等へ出向いています。

問 碓氷病院の再建や医師確保は病院だけでは難しい問題で、市をあげてやっていく必要がある、医療や病院経営に精通した人を入れたプロジェクトチームを組む必要があるのではないか。

答 今後予定している、第三者による仮称碓氷病院のあり方検討委員会の中で、検討していきます。

す。

問 訪問看護の体制を早期に整備・拡充すべきではないか

答 訪問看護の体制を早期に整備・拡充すべきではないか。常勤看護師の不足が続いており早急に充足し、今後、地域医療の中で人材確保や体制強化が必要であり重要視すべきだ。

問 現在、パートで補っている

答 現在、パートで補っている。今後、訪問看護の必要性が高まりますので、機能強化を図るよう検討します。

問 その他、病院運営で一点と、他の二つの問題を質問しました。



公立碓氷病院



佐藤 貴雄
(民声クラブ)

高齢者福祉・ 教育課題への対応について

高齢者福祉について

問 家族と同居だが、昼間は一人

になる日中独居高齢者の把握は。

答 六十五歳以上の六割弱が日中

独居傾向にあります。

問 日中独居の課題は何か。

答 窓口相談では食事の準備や体調急変時の不安です。

問 それらの対応はしているか。

答 配食サービスや訪問理美容サービス等の生活支援、ふれあい

いきいきサロン等の居場所づくりがあり、地域包括ケアシステムの構築もすすめます。

問 教育課題への対応について

答 学校のいじめの現状はどうか。

問 アンケートや日常観察を通して早期発見に努めています。

答 ネットいじめの実態はどうか。

問 ネットいじめは発覚しにくく精神的な影響も大きい。潜在事例を発掘する努力はしているか。

答 ネットモラルの啓蒙等、予防

的指導です。

問 ネットいじめはモラルの啓蒙

ではなくならない。被害者と加害者の周囲にいる観衆と傍観者の意識改革や、安心して通報できる仕組みが必要だがどうか。

答 その環境整備は必要です。

問 社会には「いじめられている側にも問題がある」という誤った認識がまだにある。スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの充実も必要だがどうか。

答 県に要望し、市も検討します。

的指導です。



いじめ防止フォーラム



小林 訂 史
(無所属)

有害鳥獣対策・農業振興・ 観光振興について

有害鳥獣対策について

問 被害防止対策の現状と今後は。

答 有害鳥獣捕獲隊を組織して、

捕獲や駆除に取り組んでいます。

また電気柵やワイヤーネットの

設置に対する取り組みには、費

用の助成を実施しています。

問 捕獲した鳥獣の処理は。

答 基本的には埋却処分としてい

ますが、小動物については、焼

却処分も行っています。

問 捕獲許可権限の委譲は。

答 平成二十年にはニホンザルや

危険性の高い状況のツキノワグ

マなどが委譲になっています。

問 鳥獣被害防止計画は。

答 平成二十五年度から平成二十

七年度の期間になっております。

来年度後半には計画の見直しに

向けた準備を進めます。

問 農業振興について

問 耕作放棄地の現状は。

答 発生要因として高齢化や後継

者の不在、相続等による不在地

主の増加等があります。

問 増加による問題点は。

答 隣接の農地等に関しては、日

照や病害虫による農作物への被

害や有害鳥獣の出没範囲の拡大、

農村景観の悪化があります。

問 今後の取り組みは。

答 補助制度等を提示して農家自

身による解消・農業委員による

解消指導・貸付けや地域による

解消を促します。また農地の活

用施策の紹介も必要です。

その他、一項目を質問しました。

農地中間管理機構について

問 耕作放棄地をなくしたり、農

地を手放す場合、「機構」がど

んな農地でも新たな耕作者に仲

介できるのか。

答 県農業公社農地中間管理機構

の規程では、振興地域内の農地

であれば可能です。しかし農用

地としての利用が著しく困難な

場合など条件不利地では厳しい

と思われる。

問 借り手がないと引き受けがで

きないというのでは中山間地で

は事業は無理ではないか。

答 貸し付けられる可能性が著し

く低い場合には「機構」は取得

しないとの規程になっています。

問 それでは、市で機構が機能し

ない。市・農業委員会などで協

調して、農地を集約させる独自

の「農地集約機構」を整備する

ことが必要ではないか。

答 必要に応じて「機構」から農

業委員会へ申し出があるので、



金井 久男
(日本共産党安中市議団)

農業振興対策・ 企業誘致促進条例について

検討していきます。

問 道の駅について

問 平成二十七年で調査を予定

しているが取り組み方は。

答 道の駅は、本来道路利用者の

ためのサービス施設なので、補

助対象や直轄事業などについて

国土交通省とよく協議していく

ことが必要と考えています。

その他、経営所得安定対策・集

落営農対策・企業誘致促進事業な

どについて質問しました。



捕獲されたイノシシ



他市の道の駅



柳沢 浩之
(清風クラブ)

交通政策・農業振興について

デマンド運行の拡充について

問 デマンド運行の利用状況は。

答 利用状況は、平成二十四年度は、岩野谷板鼻地区が千八百十九人、東横野磯部地区が千三百五十三人、平成二十五年度は、岩野谷板鼻地区が千六百四十八人、東横野磯部地区が千十五人です。

問 地域公共交通活性化再生法が施行された。再生法を活用し、交通弱者対策として、デマンド運行の拡大が必要では。

答 交通弱者の移動手段の確保は、非常に重要と認識しています。タクシー利用補助制度も併せ、デマンドの拡大も含め、総合的に検討します。

問 デマンド運行は、松井田地区でも多くの方が望んでいる。松井田地区への拡大は。

答 松井田地区の対応は、デマンドの可能性も含め、引き続き総合的に検討していきます。

問 利用者のニーズを踏まえ、他市への乗り入れで公共交通ネットワークが構築でき、まちが活性化すると思うが。

答 広域的な運行は、望ましいと認識しています。国、県などの関係機関と連携し方向性を検討していきたいと考えています。

問 公共交通の広域連携を検討していただきたい。

答 その他、路線バス、農業対策事業、休耕地の活用策について質問しました。



デマンドバスと路線バス



上原 富士雄
(公明党)

市有資産の民間企業の活用・安中市ふるさと創生寄附金(ふるさと納税)制度について

ネーミングライツ(命名権売却)制度の導入について

問 私は自主財源確保策の一環として、この提案をしてきました。

答 一連の調査・研究の現状は。歳入の確保策と認識します。ただ公共施設の名称が変更される事への市民感情の影響等を含め、引き続き慎重に検討します。

問 HPのバナー広告掲載について

答 県内、安中市だけが実施していません。HPリニューアル後に導入を求めてきましたが、既に一年が経ちます。現在の状況と、実施時期については。

問 安中市ふるさと納税制度について

答 現在、早い時期の掲載に向け広告掲載取扱要綱及び、HP有料広告掲載物取扱基準等の改正を行っていきます。平成二十八年度に実施の方向で進めます。

問 施行後六年が経過し本市は累計で四十一件、二百二十四万五千円です。また四品から一品を返礼しています。県内最多は九十四件、三億三千六百万円です。

問 特典の充実として、富岡製糸場から市内への宿泊券や、観光施設への周遊クーポン等、また市内に限らず群馬県内の特産品も含め、拡充の考えは。

答 本市への寄付額が少ない事は大きな課題と捉えます。来年度に向け、特典を増やす予定です。



ふるさと納税記念品



高橋 由信
(ふおれすと)

本市における防災対策・本市に おける危機管理体制強化について

大雪時の国、県、市の連携強化について

問 今年二月の大雪時に、国・県・市の連携がうまくいかず、除雪等の対応が遅れたが、その後どのような協議が行われたのか。

答 七月に、国交省・県土整備部を中心に、各市町村・県建設業組合・県警本部・東電・N・T・T等をメンバーとする、群馬県除雪会議が設立され、第一回の会議が行われました。

問 会議の目的と協議内容は。
答 現状の除雪体制の能力を超える大雪が発生した際に、効率的かつ迅速な道路除雪作業が行えるよう、各関係機関が協議確認し、互いに情報を共有して大雪発生時に迅速かつ確実な対応を目的として設立しました。

問 会議の回数と成果はどうか。
答 計四回開催され、地区部会も開催し、大雪時の行動計画と地区計画が策定されました。十二

月十六日には、国道十八号碓氷バイパスにおいて、県内初の道路除雪訓練が行われ、指示命令系統の確認を行いました。

問 危機管理体制、防災に対する市長の考えはどうか。
答 本市における危機管理体制はまだまだ不十分であると認識しています。市は、市民の生命と財産を守る使命があるので、早急に体制強化を行っていきます。その他、避難訓練について質問しました。

問 農業振興について
答 今年二月の大雪は各地で甚大な被害がありました。農業施設等の被害状況は。
答 被災農家数三百五十戸、被災施設七百三十三棟。農作物被害は、一億七千三百七万一千円で多額な被害です。
問 地元農産物は学校給食の食材にどの位使われているのか。
答 きゅうり・玉ネギ・上州ネギ等十六品目を使用しています。
問 廃校について
答 廃校の活用は。
問 廃校は小学校三校、中学校一校、計四校です。学校復帰支援学童クラブ、地域交流の場、避難所、文化財保管等、各廃校とも有効活用されています。
問 観光資源として旧坂本小学校の資源活用はできないか。
答 旧坂本小学校は風情ある建物です。観光資源と共に撮影の適地として紹介していきます。



小宮 ふみ子
(民主・社民クラブ)

農業振興・廃校・ 合併十周年について

農業振興について

問 今年二月の大雪は各地で甚大な被害がありました。農業施設等の被害状況は。

答 被災農家数三百五十戸、被災施設七百三十三棟。農作物被害は、一億七千三百七万一千円で多額な被害です。

問 地元農産物は学校給食の食材にどの位使われているのか。

答 きゅうり・玉ネギ・上州ネギ等十六品目を使用しています。

問 廃校について

答 廃校の活用は。

問 廃校は小学校三校、中学校一校、計四校です。学校復帰支援学童クラブ、地域交流の場、避難所、文化財保管等、各廃校とも有効活用されています。

問 観光資源として旧坂本小学校の資源活用はできないか。

答 旧坂本小学校は風情ある建物です。観光資源と共に撮影の適地として紹介していきます。

合併十周年記念について

問 平成二十八年で合併十周年。企画構想は。

答 十周年記念を祝う事業の基本方針は効果的で経費節減に努め、式典・イベント等の開催を検討しています。

問 イベント事業の中に市民が期待しているフリーマーケット開催についての考えは。

答 ふさわしいイベントですが、市として支援することは可能と考えています。



県道路除雪行動計画訓練



旧坂本小学校



武者 葉子
(公明党)

子育て支援・危険ドラッグ対策・医療費の削減について

不妊治療費助成事業について

問 国の助成対象年齢が平成二十八年度から四十三歳以上の方が対象外となるが、本市はどう対応するのか。

答 当面は年齢制限を設けないで継続します。

問 死産や流産を繰り返してしまふ不妊症治療への助成制度は、全国的に広がっているが、本市でも実施する考えは。

答 国や県、他市動向を踏まえ、検討します。

ロタウイルスについて

問 乳幼児が激しい嘔吐や水のよくな下痢に苦しむロタウイルスは、ワクチンが高額で保護者の負担が重い、一部助成を行う自治体が増えているが、実施できないか。

答 効果と必要性は理解してはいますが、多くの予算を必要としますので、国の定期接種化への動向と県内他市の状況を見て検討

します。

危険ドラッグ対策について

問 今年に入り次々と危険ドラッグ使用中の事故や事件が続いているが、市民の生命を守るための市の対策は。

答 薬事法による規制対象で、国や県の所管となっております。県と連携・協力し、市民に正しく認識されるよう広報・啓発活動を進めます。

その他、医療費の削減について質問しました。



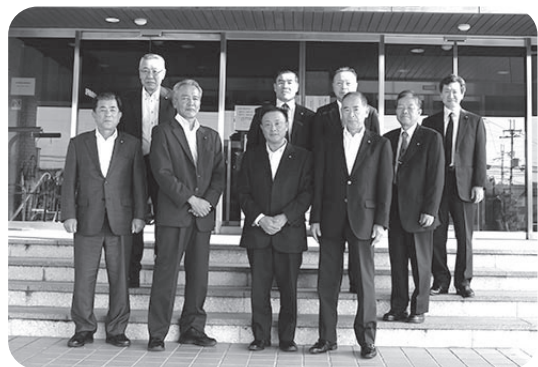
不妊治療費助成事業担当窓口

議会運営委員会行政視察報告

昨年十月下旬、本委員会では、滋賀県栗東市と山口県防府市において、調査研究視察を行いました。栗東市では、予算・決算の審査方法として、当市は特別委員会を設置して審査するのに対して、各常任委員会に分割付託しているとのことでした。また、議会基本条例を平成二十五年九月に制定し翌年四月一日から施行されておりました。

栗東市の特徴ある事項として、①地域に向いてする議会報告会②請願者の意見を聞く機会の保障③議員の質問の論点を整理するための反問権の付与④議員相互の自由討議を中心とした運営

が、特徴ある内容になっています。防府市においては、平成二十三年十月より導入されている議会モニター制度について視察を行いました。この制度は、議会運営に関心がある十八歳以上の市民に、会



栗東市役所

議を積極的に傍聴してもらい、議会の理解を深めていただくとともに、意見を文書により議長に提出する等、活動をしてもらうものであります。導入により議会への理解を深めていただくことと、それまでの議会活動の見直しに効果があるとのことでした。

これらの調査研究を参考に、これから開かれた議会のために、委員一丸となって、活発な意見交換を進め、議会改革に取り組んでいきます。

平成26年12月定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案名	議員名	議席番号																								結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
		金井久男	櫻井ひろ江	柳沢浩之	佐藤貴雄	吉岡訂史	小林敏博	今岡完司	武者葉子	上原富士雄	川崎文雄	小宮ふみ子	大野貞義	奥原賢一	齊藤盛久	中島徳造	土屋弘	高橋由信	柳沢吉保	上原和明	田中伸一	廣瀬晃	伊藤清	柳沢健一			
議案第81号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第82号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第83号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第84号	安中市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	安中市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	安中市行政手続条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	安中市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	安中市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第91号	安中市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	安中市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第93号	安中市障害児者生活サポートセンター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	安中市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	土地の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	平成26年度安中市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	平成26年度安中市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第98号	平成26年度安中市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	平成26年度安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第100号	平成26年度安中市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※伊藤 清 議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 】

議会改革特別委員会報告

本委員会は、地方分権の推進により、市議会の役割がますます重要となる中、市民の負託により一層応える議会の実現を目指し、昨年六月定例会で設置されました。

設置後、約半年間で十一回の委員会を開催し、慎重かつスピード感をもって調査・研究を進め、結果として主に三つの成果を残すことができました。

第一に、議員自らの改革として、議員定数を次期選挙から二名削減し、二十二名とすることを九月定例会で議会議案として上程し、可決、決定いたしました。

第二に、より開かれた議会にするために、十二月定例会から、インターネットなどを通じて映像配信を開始いたしました。

第三に、十二月定例会から、議案に対する各議員の賛否を公表することを決定いたしました。

その他、一般質問の質問回数制限を撤廃し、通告の仕方をわかりやすく改善いたしました。

限られた期間の中で、所期の目的を達成したことにより、十二月定例会をもちまして、本委員会の調査を終了いたしました。

議会の映像配信を開始しました

昨年十二月の第四回定例会より本会議の映像配信を開始いたしました。

今後はより多くの市民の皆様には、議会(本会議)の様子をご覧いただけるよう、市役所本庁舎一階ホールのモニターよりライブ中継を行うとともに、ご自宅のパソコンやスマートフォン・タブレットからもインターネット中継(ライブ中継・録画中継)をご覧いただけます。

なお、本会議は傍聴も行ってまいりますので、お気軽にお越しください。

インターネット中継はこちらから
 ※安中市ホームページ↓

安中市議会↓議会議中継

人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

○人権擁護委員

東上秋間

中 曾 根 章 二

安中

加 藤 清 美

松井田町新堀

前 澤 成 澄

人事関係以外の議案

○安中市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

介護保険法の一部が改正され、従来厚生労働省令で定められていた包括的支援事業を実施するために必要な基準を定めるため、条例を制定するものです。

○安中市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関

する基準等を定める条例の制定について

○安中市行政手続条例の一部を改正する条例について

行政手続法の一部が改正、施行されるのに伴い、処分及び行政指導に関する手続きについて、市民の権利利益の保護の充実に図るため、法令の要件に適合しない行政指導の中止等を求める制度及び、法令に違反する事実の是正のための処分、行政指導を求める制度を整備する等の措置を講じるため、条例の一部を改正するものです。

○議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院から民間給与との格差に基づき給与改定について引き上げ勧告がなされたため、市議会議員の期末手当について、〇・一五カ月引き上げるため、条例の一部改正をするものです。

○安中市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告により、市長及び副市長の期末手当についても〇・一



障害児者生活サポートセンター

五カ月引き上げるものです。

- 安中市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 安中市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について
- 安中市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

- 安中市障害児者生活サポートセンター条例の一部を改正する条例について
- 安中市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 土地の処分について
- 平成二十六年安中市一般会計補正予算 (第七号)
- 平成二十六年安中市介護保険特別会計補正予算 (第二号)
- 平成二十六年安中市下水道事業特別会計補正予算 (第一号)
- 平成二十六年安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計補正予算 (第一号)
- 平成二十六年安中市水道事業会計補正予算 (第一号)

意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることができるものです。

今定例会には、二件の意見書(案)が提出され、一件が可決されました。

《可決された意見書》

○年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国会及び関係省庁に送付しました。

請願・陳情

皆様から提出されました請願および陳情の審査結果は、次のとおりです。

《採択となったもの》

- 災害から命を守る避難場所確保に関する請願

次の定例会(予定)

次の定例会市議会は、三月三日から三月二十日までの十八日間の会期で開催される予定です。

◇3日 本会議 開会、議案の上程等

◇4日 本会議 施政方針、議案の上程等

◇17日 本会議 一般質問

◇18日 本会議 一般質問

◇20日 本会議 委員長報告、採決等、閉会

編集後記

昨年二月過去に例を見ない大雪に見舞われ母屋の一部や、物置、車庫、ビニールハウスに甚大な被害が発生しました。市ではこの経験を基に対策を考えると同時に市民に対して、雪に備えて準備をして下さいと回覧しました。集落によつては六十五歳以上しか居住していない限界集落が増加しています。集落が結束して除雪作業をしていきましたが、いま地域を支える若者が少ない状況では、大雪の場合市行政に頼るしかありません。職員の地区別担当者を決めて市民生活に支障がでないように万全を期して、より細やかな対応をしていただきたいと思います。(吉岡)

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎ 382-1111 内線 1349番

編集委員

◎小宮 ふみ子
○櫻井 ひろ江
柳 沢 浩之 佐藤 貴雄
小林 訂史 今井 敏博
吉岡 完司 武者 葉子